

地域課題① 将来を見据えた持続可能な組織づくり

★具体的取組の例

- 広域コミュニティ組織との連携による事業内容の見直し
- 将来を見据えた会費のあり方の検討と、共同作業の見直し
- 近隣する単位自治組織との交流と協力体制の構築
- 新しい生活様式に対応し、SNS やオンライン化の導入の検討

選択肢	回答数	割合
取り組んだ	27	44%
取り組まなかった	34	56%
無回答	0	0%

具体的取組とその効果など

【30 世帯以下】

- ・将来を見据えた会費のあり方と共同作業の見直しを行った。
- ・今まで一人が担当していた行事を実行委員会を組織して実施した。
- ・回覧で済むものが多数見受けられたため、毎月市報配布時の各種配布物を見直した。配布前の手間が軽減できた。

【31～100 世帯】

- ・役員間の連絡に LINE を使用した。
- ・集落行事及び共同作業（資源回収、草むしり、集落公民館の清掃など）の必要性・実施時期を検討した。
- ・集落費の負担について皆で考えることで共同意識が向上した。

地域課題② 多様な人材の活用と役員等の負担軽減

★具体的取組の例

- 役員負担軽減につながる効果的な組織体制の見直し
- 単位自治組織が抱える課題・将来像を共有する場づくり
- 女性や若者を登用し、幅広い年齢層が参加しやすい集落運営の仕組みづくり

選択肢	回答数	割合
取り組んだ	27	44%
取り組まなかった	33	54%
無回答	1	2%

具体的取組とその効果など

【30 世帯以下】

- ・令和 6 年度から役員の任期を 1 年とした。
- ・役員内で情報共有や簡易な打合せに LINE を利用した。
- ・各種配布物などを区長だけが配布するのではなく、役員で分担し配布することとした。

【31～100 世帯】

- ・これまでの定期的な会議の開催を見直し、役員の連絡などにメールなどを活用した。
- ・役員による個別集金業務を取りやめ、会計からの一括集金とし負担軽減に努めた。
- ・行事を見直し、必要ないものは省いた。

地域課題③ 多世代が交流し、あいさつを交わし合える地域づくり

★具体的取組の例

- 地域の特性を活かした多世代参加・交流型事業の開催
- 若者が事業を通じて企画・運営の達成感や充実感を感じられる仕掛けづくり
- 笑顔であいさつを交わし気軽に話し合える雰囲気や場づくり
- 子どもが地域の大人とつながり、体験を通して地域の魅力を知ることによるふるさと大好きな子どもの育成

選択肢	回答数	割合
取り組んだ	28	46%
取り組まなかった	32	52%
無回答	1	2%

具体的取組とその効果など

【30 世帯以下】

- ・コロナ禍で実施を控えていた懇親会を積極的に実施した。世代間のわだかまりがなくなった。

【31～100 世帯】

- ・多世代参加の交流型事業を開催した。
- ・子ども、保護者、役員一同による親睦会を開催した。
- ・世代を超えた交流で、子どもたちと集落の大人がお互いに顔のわかる関係を作ることができた。

地域課題④ お互いを見守り支え合う安全で安心な地域づくり

★具体的取組の例

- 自主防災組織の機能点検及び広域コミュニティ組織と連携した事業体制の構築
- 有事に備えた住民情報の把握と見守り・支え合い体制の仕組みづくり
- 他団体と連携した高齢者等交流・支援活動の実施
- 空き家情報の把握と市への情報提供

選択肢	回答数	割合
取り組んだ	35	57%
取り組まなかった	25	41%
無回答	1	2%

具体的取組とその効果など

【30 世帯以下】

- ・集落の危険な所の点検を行った。
- ・回覧や広報配布時に、高齢者などへの見守り及び声掛けを実施した。
- ・単身高齢者への積極的な声掛けや冬期玄関先などの除雪を行った。
- ・広報配布する際に、なるべく顔を見て会話することを心掛けている。

【31～100 世帯】

- ・公園遊具の点検を行い、不具合個所の修理を行った。
- ・防災訓練で住民全員の安否確認表を作成した。
- ・防災マップを毎年度更新し、全戸配布することにより周知徹底を図った。
- ・有事に備えた住民情報の把握と、見守り体制の仕組みを構築した。

その他／ 地域で課題になっていることなど

【30 世帯以下】

- ・空き家の増加が課題になっている。
- ・若い世代の集落外への移住が増加傾向にある。
- ・集落人口の逡減化による役員の担い手が不足している。

【31～100 世帯】

- ・空き家の積雪による倒壊事故の心配。
- ・高齢化が進み行事や祭事などに参加できない人が多い。
- ・集落の高齢化が年々進み、現状の体制維持が厳しくなっている。
- ・消防団員のなり手が不足している。

その他／ 具体的に考えている事業や取組んでみたい事業など

【30 世帯以下】

- ・高齢者が多いため、日頃から声を掛け合う環境づくりに取り組んでみたい。
- ・緊急連絡先把握、又は、年代を限定しない安心カードの設置。今後必要な取組み検討に繋げるために、町内会役員と担当民生児童委員などとの意見交換。
- ・災害時用資機材の整備。

【31～100 世帯】

- ・世帯台帳整備、対象世帯限定の緊急連絡先の把握。
- ・レクリエーション大会などの復活や集落祭りの行事の充実を図りたい。
- ・避難訓練とレクリエーションを兼ねた事業。

その他／ 地域コミュニティに関するご意見など

【31～100 世帯】

- ・防災・各種連絡事項を受け取れる LINE グループを作ってほしい。
- ・防災無線の音声聞き取れない。

地域課題① 身近な地域の居場所づくり

★具体的取組の例

- 広域コミュニティ活動についての研修会や情報交換
- 広域コミュニティ活動の地域内外への発信
- 地域資源を活かしたコミュニティビジネスの取組に向けた検討
- 適正な受益者負担の検討

選択肢	回答数	割合
取り組んだ	4	100%
取り組まなかった	0	0%
無回答	0	0%

具体的取組とその効果など

- ・地域ビジョンを実行に移すためのワークショップを開催した。(手向)
- ・夏休みに小学生と高齢者の交流会を行った。30名以上の参加があり好評だったので継続していく。(手向)
- ・広報の発行など広域コミュニティ活動の情報発信を行った。(泉)
- ・世代間交流事業を開催し、地域住民同士が交流する機会を作った。運動会では2地区の住民を対象に、スポーツ・レクリエーションを通し親睦、交流を深めることができた。また、夏祭りは多世代の方が楽しめた事業となった。(広瀬)
- ・世代関係なく参加できる地域事業、世代ごとに楽しんで参加できる事業を企画し、年間を通して住民同士が交流する機会を作ることができた。徐々にではあるが、世代ごとの事業は参加率が上がってきている。(羽黒第四)

地域課題② 単位自治組織と連携した事業体制と新たな人材育成

★具体的取組の例

- 広域コミュニティ組織による単位自治組織への支援
- 地域の現状と目指すまちの姿を共有し、地区住民の声を反映した「地域ビジョン」の策定
- 地域活動に参加する契機の創出
- 地域コミュニティに関わる団体・組織との交流
- 新たなリーダー輩出につながる、サブリーダーからの人材育成と達成感を感じる仕掛けづくり

選択肢	回答数	割合
取り組んだ	4	100%
取り組まなかった	0	0%
無回答	0	0%

具体的取組とその効果など

- ・門前市を2回行った。計700名程の参加があった。(手向)
- ・地区球技大会を行った。パタンク、グランドゴルフ合わせ約100名の参加があり世代間交流ができた。(手向)
- ・地域ビジョンのキーワードをもとに、多世代が交流できる場所と機会づくりに取り組んだ。また、年度毎に実施状況や改善点などを話し合う機会を設けた。(泉)
- ・地元就職した若い世代に地域事業の企画・運営から携わってもらい、高校生や役員、外部団体と一緒に事業を盛り上げてもらった。高校生や、20代の若い世代から事業に携わってもらうことで、地域の活性化に繋がった。新たな人材の育成にも繋げていきたい。(広瀬)
- ・各集落から選任された役員と協力し事業を企画・運営することができた。(羽黒第四)

- ・中心的役割を担う人の後任育成が遅れており、地域全体の課題として取り組むことで解消していきたい。

地域課題③ 郷土愛を育む学びの場と地域の魅力を発信できる仕組みづくり

★具体的取組の例

- 子どもたちの郷土愛を育む社会教育活動の実践
- 小学校などと連携した協働活動の推進
- 若者に魅力ある子育てしやすい環境づくり
- 地域外から人材を呼び込み、地域力の維持・強化と地域の魅力の再発見と発信
- 新しい生活様式に対応し、SNS やオンライン化の導入を検討

選択肢	回答数	割合
取り組んだ	4	100%
取り組まなかった	0	0%
無回答	0	0%

具体的取組とその効果など

- ・ホタル観賞会やツリーイングなど小学生を対象としたイベントを継続して取り組み、定着してきた。(手向)
- ・羽黒小学校6年生と「おくのほそ道」の旅で芭蕉が泊まった別院紫苑寺の跡である南谷の清掃を協力して行った。新規事業で地域住民約20名の協力を得た。(手向)
- ・農作業を通じた世代間交流事業を実施した。(泉)
- ・地区の魅力を発見・再確認するために、コースを変えながら区内ウォーキングや文化祭の中でフォトコンテストを実施した。(泉)
- ・広報紙の他にフェイスブックやインスタグラム(SNS)を活用して、地区の魅力や情報を発信した。(泉)
- ・小学校や外部団体と連携し、農作業やそば打ち教室を通し世代間交流を実施した。農業の大変さや地域食材の美味しさを学ぶ機会となった。(羽黒第四)

地域課題④ 自主防災組織と連携した防災の体制づくり

★具体的取組の例

- 情報伝達、情報収集方法の構築
- 単位自治組織の自主防災会への働きかけや支援
- 地域の実情に即した避難訓練や防災研修などの実施

選択肢	回答数	割合
取り組んだ	4	100%
取り組まなかった	0	0%
無回答	0	0%

具体的取組とその効果など

- ・防災訓練と安全パトロールを実施した。(手向)
- ・防災備品の拡充の一環で簡易暖房器具を購入した。(手向)
- ・地区を5ブロックに分け、集落自主防災会や振興会防災安全部、消防、警察などと連携しながら、毎年順番で防災訓練を実施し、担当ブロック避難訓練や炊出しなどを実際に体験した。(泉)
- ・市羽黒庁舎と共催し総合防災訓練を実施した。他団体と連携し災害時の知識、防災用品の組み立てなどの知識を習得することができた。(広瀬)

地域課題⑤ 安心して暮らし続けられるコミュニティづくり

★具体的取組の例

- 高齢者や要支援者の見守り支援体制の構築
- 各種団体や組織と連携した防犯体制の取組
- 不良空き家化の予防啓発
- 地域共生社会の実現に向けた「地域支え合いプラン」の推進

選択肢	回答数	割合
取り組んだ	4	100%
取り組まなかった	0	0%
無回答	0	0%

具体的取組とその効果など

- ・単身高齢者の資源回収を協力して行った。(手向)
- ・鳥獣被害対策に取り組んだ。(手向)
- ・地域通貨の流通量が50万円になり、地元での経済循環が促進されるとともに地域の活性化に繋がった。(手向)
- ・地区住民を対象に、全国規模で起こっている詐欺被害などの情報や予防策を聞く事業を実施した。(泉)
- ・各組織と連携し、各集落内の危険個所の確認や防犯体制の点検を行った。(広瀬)

その他／ 地域で課題になっていることなど

- ・人口減少、空き家、祭事、地区行事などの若年層の担い手が不足している。
- ・少子高齢化に伴い、多世代が交流できる機会が減っている。
- ・少子高齢化が進み、従来の組織体制を継続していくことが難しいため、組織の縮小や役職などの整理作業を早急に行う必要があると感じる。

その他／ 具体的に考えている事業や取り組んでみたい事業など

- ・地域通貨、歴史的まちづくりなどへの視察・研修の誘導（ホームページなどで）(手向)
- ・活動センターの一室を開放して、来館者同士で交流できる場所を提供する事業を実施する。(泉)
- ・集落や世代を超えた交流ができるようなイベントの実施に向け、ビジョン検討委員会、振興会各役員、集落区長や各種団体の代表の方々と話し合いを続けていく。(泉)
- ・運動会、敬老会、夏まつりなどの事業を通し、地域住民の親睦交流が長続きするように様々なアイデアを出し、開催を継続していく。また、地域ビジョンの実現に向け地域の現状と目指すまちの姿を共有し、地域住民の声を反映させた事業を展開していく。(広瀬)
- ・地域ビジョンのSDGsの目標に基づき、資源回収を自治振興会単位で行えるようにし、地区住民の利便性の向上を図りたい。(羽黒第四)

その他／ 地域コミュニティに関するご意見など

- ・コロナ禍を経て、人が集まる機会が減っている。住民同士が繋がる橋渡しができるように取り組んでいきたい。
- ・住民が住み続けたい、戻ってきたいと思えるようなまちづくりに向けて取り組んでいくとともに、その母体(活動拠点)となる地域活動センターの再整備について進めていただきたい。
- ・今後人口減少などを考えると、十数年後には自治組織を集約していく方向になると思うので、羽黒地域での今後の想定や計画について、話し合いの場を設けたほうが良いと思う。